

JRの責任産別として 組織と運動を磨き、すべての関係者との対話を通じて 強しなやかなJR産業を築こう!



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会 facebook 103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階 TEL (NTT) 03-3270-4590 FAX (NTT) 03-3270-4429 1部20円(但し組合費に含む) ●発行者/上村良成 ●編集者/宮野勇馬

2026春季生活闘争におけるJR7単組の妥結結果を踏まえてのコメント

2026年3月23日

JR連合の統一方針に基づき取り組みを展開してきたJR7単組は、会社との真摯な労使協議を積み上げた結果、3月12日から19日にかけて回答を引き出し、妥結した。

2026春季生活闘争において、私たちは、昨年に引き続き人財の確保・定着を最大の課題と位置付け、取り組みを展開してきた。昨年は、社会水準に見劣りしない賃上げを実現するなど、大きな成果を確認することが出来たが、単組毎の個別の結果では十分な成果を得られなかった単組も多く、課題を残していた。今次闘争では「ONE TEAMで今年も賃上げ!」をスローガンに掲げ、高水準の賃上げを継続して実現するとともに、課題を残した単組においても十分な賃上げを実現するべく価格転嫁や適正取引の一層の推進を訴え、組合員の生活改善と産業内外との格差是正をめざしてきた。また、春季生活闘争の機会を通じた組織強化・拡大に向けては、労働基準関係法制見直しに対する新たな見解を発し、多方面に対し理解促進を図ってきたところである。

このように取り組んできた結果、3月12日にジェイアール・イーストユニオン、17日にJR北労組、JR西労組、18日に貨物鉄産労、19日にJR東海ユニオン、JR四国労組、JR九州労組がそれぞれ回答を引き出した。JR7単組は、定期昇給・ベースアップの実施を引き出したほか、各単組の実情に応じた諸手当・諸制度の改善、期末手当、一時金の支払いなども引き出し、一定の成果を確認した。

JR連合の集計結果(速報)では、月例賃金総額で前年実績を上回った単組は5単組(賃金制度改正等の効果を含めて前年実績を上回った2単組を含む)となり、2単組は前年実績を下回った。平均賃金方式で回答を引き出した6単組の加重平均(組合員ベース)は、16,532円(5.05%)となり、昨年実績を2,152円(1.03%)下回ったが、連合が掲げる5%を上回った。また、賃上げ分(定期昇給相当分を2%と仮定した推計値)は9,986円(3.05%)となり、昨年実績を2,551円下回った。個別賃金方式で回答を引き出した単組の賃上げ分は、35歳ポイントで14,200円(4.0%)となり、昨年実績を2,000円上回った。政府経済見通しによれば、2025年度の消費者物価指数(総合)は2.6%を見込んでおり、現時点においてはJR7単組の賃上げ分が上回っているが、数値が確定していないことから、総括に向けて検証する必要がある。期末手当を要求した5単組では、4単組が回答を引き出し、それぞれ昨年を上回る結果となった。

連合が3月23日に発表した第1回回答集計結果(平均賃金方式・加重平均)は、定昇込み17,687円(▲141円)5.26%(▲0.2%)、賃上げ分13,013円(+442円)3.85%(+0.01%)となったが、JR7単組の成果は及ばなかった。

これから交渉が本格化し、ヤマ場を迎えることとなるグループ労組については、多くの加盟単組がJR連合の統一方針に基づく要求を掲げ、積極的に労使協議に取り組んでいる。健全な労使関係に基づく真摯な協議を通じて、物価上昇分を上回り、組合員の生活改善を実現するとともに、人財の確保・定着に資する回答を早期に引き出すことを要請したい。多くの単組で厳しい交渉が展開されているが、目標賃金への到達が展望できる賃上げを実現するために、各単組の一層の奮闘を期待する。JR連合は、エリア連合との連携を更に深めながらグループ労組の交渉支援に取り組み、併せて個別労使では対応できない公共サービス部門における価格転嫁の推進などの課題解決を図る政策活動を引き続き展開していく。

3月6日には、白木秀剛衆議院議員がJR貨物、JR北海道を巡る課題を衆議院予算委員会にて取り上げた。昨年11月に財政制度等審議会が示した「JR貨物の抜本的改革を検討すべき」との指摘についての国土交通大臣の受け止めを確認するとともに、「線路使用料に関するJR会社間協定の更新やポイントコスト削減の改定といった課題解決が必要」と説いた。また、JR北海道が抱える黄線区間問題に言及し「鉄道貨物の活用、防災・環境・食料安全保障等のポリシー



白木衆議院議員



深作衆議院議員

3月12日には、深作へス衆議院議員が通勤手当、社会保険料について質疑を行った。JR東日本が民営化後消費税増税を除いて初めて運賃改定を行うことに触れ、通勤手当の支給額が上がれば社会保険料の負担も増え、手取りが減少するとの課題を指摘し、政府に改善を求めた。今後、こうした質疑・答弁を具体的な課題解決に活かすべく、さらなる質疑を展開していく。

2026春季生活闘争 JR7単組が回答を引き出し妥結 全ての加盟単組の妥結まで「ONE TEAM」で

2026春季生活闘争は「ONE TEAM」今年も「賃上げ!」をスローガンに掲げ、最重要課題である人財の確保・定着に向けて、社会水準を強く意識するとともに、価格転嫁や適正取引の一層の推進、広がり続ける産業内外との格差是正を訴え、すべての働く仲間への生活改善をめざしてきた。

JR各単組は、連合や交運労協の方針に基づき、定期昇給の完全実施および「1万2000円以上のベア要求」を含む「月例賃金総額1万8000円以上の引き上げ」を求める統一要求に基づき、鋭意交渉を再開した結果、JR7単組は、3月12日から19日にかけて回答を引き出し、妥結した。JR7単組は、定期昇給・ベアの実施を引き出したほか、各単組の実情に応じた諸手当・諸制度の改善、期

末手当、一時金の支払いなども引き出し、一定の成果を確認した。(下表参照) グループ労組の春季生活闘争は、これから交渉が本格化し、ヤマ場を迎えることになる。目標賃金への到達が展望できる賃上げを実現するために、各単組の一層の奮闘を期待する。JR連合は、エリア連合との連携を更に深めながらグループ労組の交渉支援に取り組み、併せて個別労使では対応できない公共サービス部門における価格転嫁の推進などの課題解決を図る政策活動を引き続き展開していく。



川合衆議院議員

JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属の川合孝典衆議院議員は、2月26日、第221回特別国会の参議院本会議にて代表質問に立ち、高市早苗内閣総理大臣、金子恭之国土交通大臣に対し、公共交通、特に鉄道に関する認識を問うた。

川合議員は「公共交通政策、とりわけ鉄道政策について総理に伺う」と切り出し、日本を支える基盤的インフラの維持・拡充も必要と主張し、交通政策への財政支出の推進について見解を

高市総理は、日本の持続的な成長には人流・物流を支える交通が必要との考えに立ち、第3次交通政策基本計画を取りまとめた旨を説明。「交通政策の推進にしっかりと取り組む」との意思を示した。

続いて、金子大臣より鉄道・バス路線の再構築支援のほか、新幹線ネットワークについて「日本の経済社会を支える基幹的な輸送機能として丁寧かつ着実に構築していく」旨が示された。

重要課題について政府の認識を問う フォーラム議員が質問に立つ

議員が衆議院予算委員会において整備新幹線について質疑を展開し、西九州新幹線武雄温泉・新鳥栖間の整備推進を政府に求めた。また、地元自治体の理解が不可欠と指摘し、「総理が強いリーダーシップを発揮すべき」と要望。高市総理は「各路線の整備に着実に取り組む」と述べた。

また、3月10日には衆議院国土交通委員会にて、公共交通ならびにバス産業に係る人財確保等の課題について質疑を展開した。

また、3月10日には衆議院国土交通委員会にて、公共交通ならびにバス産業に係る人財確保等の課題について質疑を展開した。



西岡衆議院議員

JR7単組の2026春季生活闘争要求・妥結状況

2026.3.19時点

単組名	要求日	2026年		昨年実績	
		要求内容	妥結日	要求内容	期末手当
JR北労組	2月10日	ベア 18,000円	3月17日	定昇実施 (所定昇給号俸4号俸) 平均5,879円 ベア一律7,000円	別途
イーストユニオン	2月9日	定昇完全実施 (定昇係数1.0) ベア 15,000円 (エルダー8,000円) 回答指定期日 3/16~3/19	3月13日	総額 43,125円 定昇 3,271円 ベア 3,271円 ※妥結済の賃金制度改正分を含む	夏 3.1ヵ月 夏 2.9ヵ月
JR東海ユニオン	2月5日	定昇完全実施 (標準乗数4) ベア原資 16,000円 うち純ベア 13,000円	3月19日	総額 19,000円 定昇 標準乗数4 (4,800円) ベア 10,500円 諸手当改善 3,700円	夏 3.1ヵ月 夏 3.1ヵ月
JR西労組	1月30日	定昇完全実施 ベア 16,000円 その他エリア手当、扶養手当改善ほか	3月17日	総額 18,060円 定昇基準昇給実施 (5,328円) ベア 10,000円	年間 5.7ヵ月 年間 5.42ヵ月
JR四国労組	2月9日	ベア 12,000円	3月19日	総額 11,906円 定昇 4,574円 ベア 4,000円+1号俸 (5,274円)	別途
JR九州労組	2月9日	ベア 15,000円	3月19日	総額 11,894円 定昇 4,094円 ベア 7,800円	夏 3.0ヵ月 55歳以上加算 夏 2.9ヵ月
貨物鉄産労	2月10日	定昇完全実施 ベア 16,000円	3月18日	定昇 4,388円 ベア 4,100円	年間4.8以上 別途

ヤマちゃん

なかの はやみ (NO338)

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、
次のステージへ

公式キャラクター
ピットくん

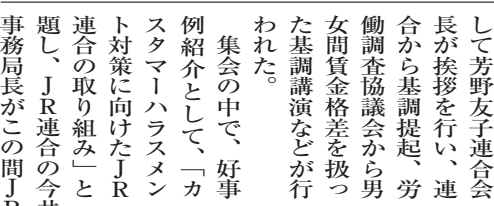
連合3・8国際女性デー中央集会 誰もが働きやすい職場と 多様性を認め合う社会の実現を



連合は、3月6日、国際女性デーである3月8日にあわせて、3・8国際女性デー中央集会を開催した。JR連合からも、会場参加・WEB視聴を合わせ、20人が参加した。

集会では、主催者を代表して芳野友子連合会長が挨拶を行い、連合から基調提起、労働調査協議会から男女間賃金格差を扱った基調講演などが行われた。

集会の中で、好事例紹介として、「カスタマーハラスメント対策に向けたJR連合の取り組み」と題し、JR連合の今井孝治事務局長がこの間JR連合について報告した。



また、集会の前段には、JR連合第2回男女平等参画推進委員会を開催し、大会での承認を経て来年度よりスタートさせることとなるJR連合「第5次男女平等参画推進行動目標」(案)の策定を行い、意思統一を図った。



第1回女性役員研修会 様々な立場の人が 力を発揮できる組織へ

JR連合は、3月7日、第1回女性役員研修会を開催した。各単組から女性役員が集まる中、上村会長は冒頭の挨拶で「男女平等なくして民主主義は存在しない。女性がリーダーシップを発揮することで、労働組合は「一層強くなる」というITUC(国際労働組合総連合)平等局長のメッセージを紹介し、労働組合活動には、女性をはじめとする様々な立場の視点が必要不可欠であることを訴えた。

その後、サービス連合の櫻田あすか会長をお招きし、「労働組合にめのか、女性役員が活躍するための心構え、家庭やプライベートとの両立などについて、熱心にお話をいただいた。

出席者はその後、それぞれが



櫻田サービス連合会長の講演で 心に響いたこと

今のルールは誰かが声をあげてつくった
【参加者の声】先人たちが業務で感じたちょっとした引っ掛かりが今の「ルール」になってきた。私たちが、仕事の中で感じる引っ掛かりを大事にしていきたい。

意思決定の場に当事者が必要
【参加者の声】独身時、会社の育児制度の当該者ではなかったため、育児中の組合員の大変さを感じる事ができなかった経験から、母になった立場で現在役員を続けている。

声を掛けられるのは光栄、役職が人を作る
【参加者の声】労働組合の役員になった当初は分からないことばかり。でも自分自身、活動を通して理解できたことは多かったため、このポジティブシンキングに納得。

ロールモデルは意識しなくてよい
【参加者の声】ロールモデルはキラキラしていなくてもいいという思い込み。意識しなくても良い、自分のスタイルで、と聞いて肩の力を抜くことができた。

同質の集まりは減じる、多様性は重要
【参加者の声】同じ属性の人たちが集まっていると合意形成は取りやすいが、生態学的にも社会的にも同質の集まりは減じている、という話が印象に残った。

自分らしい参加ができる安心な環境を
【参加者の声】労働組合の活動の参加の方法は1人1人違って良い。それができる安心な環境づくりが大切ということが心に響いた。

キーワーカーにふさわしい賃金水準と労働条件を 2026春季生活闘争勝利3・2総決起集会

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会
交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会が、2026春季生活闘争勝利3・2総決起集会を開催し、産業界間格差の是正に向けて、産後まで全力で闘い抜く決意を固めた。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った池之谷潤議長は、今次闘争を取り巻く環境や交通運輸・観光サービス業界の現状について触れ、「キーワーカーにふさわしい賃金水準と労働条件を勝ち取るべく、交運労協に集う60万人の力を結集し、最後まで闘い抜こう」と述べた。

連合からは芳野会長が出席し、「労働組合がある企業の方が、労働組合がない企業よりも賃上げ率は約1%高い。春季生活闘争を通じて、労働組合の意義をアピールしてほしい」と訴えた。

続いて、交運労協の蒔田純司事務局長より、交運労協2026春季生活闘争方針について提起があり、①人材確保、②産業界間格差の是正、③実質賃金の確保、④価格転嫁の推進、⑤産業界の代表者より、今次闘争勝利に向けた決意表明が行われた。JR連合を代表して住吉一家労働政策局長は、価格転嫁の一層の促進に取り組むとともに、集団的労使関係の重要性を訴える」と熱く決意を述べた。

そして、福森敬和事務局長(次長)が「JR連合特別執行委員会」によって提起された集會宣言案が承認され、最後は池之谷議長の団結がばらうで、2026春季生活闘争勝利に向け、交運労協に結集する仲間が一丸となり闘い抜くことを確認した。



もっとつながろう グループ労組めぐり

2026年、JR東海交通事業労働組合は新たな名称のもと新体制での歩みをスタートさせました。新委員長の就任を機に、より一層、組合員にとってより身近で、一人ひとりに寄り添う活動を大切にしています。現在、特に力を入れているのが、心理的安全性の高い職場づくり、です。誰もが安心して意見を伝え、困ったときには声をあげられる職場は、安全で働きやすい環境につながります。その土台となるのが、日々のコミュニケーションです。

この取り組みの一環として、JR東海交通事業労働組合は、リスニングとアサーションをテーマにしたコミュニケーションスキル研修を実施しました。相手の話を丁寧に聴き、相手を尊重しながら自分の想いを伝える力は、職場の対話を前向きで温かなものにしていくと思います。こうした取り組みは、業種や職場を越え

第1回女性役員研修会 様々な立場の人が 力を発揮できる組織へ

JR連合は、3月7日、第1回女性役員研修会を開催した。各単組から女性役員が集まる中、上村会長は冒頭の挨拶で「男女平等なくして民主主義は存在しない。女性がリーダーシップを発揮することで、労働組合は「一層強くなる」というITUC(国際労働組合総連合)平等局長のメッセージを紹介し、労働組合活動には、女性をはじめとする様々な立場の視点が必要不可欠であることを訴えた。

その後、サービス連合の櫻田あすか会長をお招きし、「労働組合にめのか、女性役員が活躍するための心構え、家庭やプライベートとの両立などについて、熱心にお話をいただいた。

出席者はその後、それぞれが



櫻田サービス連合会長の講演で 心に響いたこと

今のルールは誰かが声をあげてつくった
【参加者の声】先人たちが業務で感じたちょっとした引っ掛かりが今の「ルール」になってきた。私たちが、仕事の中で感じる引っ掛かりを大事にしていきたい。

意思決定の場に当事者が必要
【参加者の声】独身時、会社の育児制度の当該者ではなかったため、育児中の組合員の大変さを感じる事ができなかった経験から、母になった立場で現在役員を続けている。

声を掛けられるのは光栄、役職が人を作る
【参加者の声】労働組合の役員になった当初は分からないことばかり。でも自分自身、活動を通して理解できたことは多かったため、このポジティブシンキングに納得。

ロールモデルは意識しなくてよい
【参加者の声】ロールモデルはキラキラしていなくてもいいという思い込み。意識しなくても良い、自分のスタイルで、と聞いて肩の力を抜くことができた。

同質の集まりは減じる、多様性は重要
【参加者の声】同じ属性の人たちが集まっていると合意形成は取りやすいが、生態学的にも社会的にも同質の集まりは減じている、という話が印象に残った。

自分らしい参加ができる安心な環境を
【参加者の声】労働組合の活動の参加の方法は1人1人違って良い。それができる安心な環境づくりが大切ということが心に響いた。

もっとつながろう グループ労組めぐり

2026年、JR東海交通事業労働組合は新たな名称のもと新体制での歩みをスタートさせました。新委員長の就任を機に、より一層、組合員にとってより身近で、一人ひとりに寄り添う活動を大切にしています。現在、特に力を入れているのが、心理的安全性の高い職場づくり、です。誰もが安心して意見を伝え、困ったときには声をあげられる職場は、安全で働きやすい環境につながります。その土台となるのが、日々のコミュニケーションです。

この取り組みの一環として、JR東海交通事業労働組合は、リスニングとアサーションをテーマにしたコミュニケーションスキル研修を実施しました。相手の話を丁寧に聴き、相手を尊重しながら自分の想いを伝える力は、職場の対話を前向きで温かなものにしていくと思います。こうした取り組みは、業種や職場を越え

JR東海交通事業労働組合

て、全国で働く組合員一人ひとりが、より良い職場と安心できる暮らしにつながっていきます。

互いの経験や思いを共有し合いながら、労働組合の力で明るい未来を切り拓いていきましょう。



こくみん共済 NEWS

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、
次のステージへ

公式キャラクター
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

住吉労働政策局長

その後、構成組織を代表して、3産別の代表者より、今次闘争勝利に向けた決意表明が行われた。JR連合を代表して住吉一家労働政策局長は、価格転嫁の一層の促進に取り組むとともに、集団的労使関係の重要性を訴える」と熱く決意を述べた。

そして、福森敬和事務局長(次長)が「JR連合特別執行委員会」によって提起された集會宣言案が承認され、最後は池之谷議長の団結がばらうで、2026春季生活闘争勝利に向け、交運労協に結集する仲間が一丸となり闘い抜くことを確認した。